

令和 8 年 8 月 10 日

佐渡市議会議長 坂下善英 様

議会広報特別委員会
委員長 中川 直美

2026(令和 8)年 7 月 12 日 意見交換会 報告書

本特別委員会において、市民と議会（議員）の意見交換会を実施したので報告します。

記

議会基本条例制定以降、基本条例にも定めた議会報告会を議会改革特別委員会で議会報告会として 2 回開催してきた。（詳細は過去の報告書参照）

▶令和 8 年 7 月 12 日（日）、13 時 30 分～15 時、開催会場両津、相川、小木地区の 3 会場同時開催。参加者、両津 10 人、相川 5 人、小木 2 人。

- 1, 今年度より、議会広報特別委員会の所管事務となり、当委員会を中心に企画立案を行い実施した。
- 2, 今回は、テーマを決めずに参加された市民と議員との自由な意見交換を行う場として開催した。開催会場は、両津、相川、小木地区の 3 会場で令和 8 年 7 月 12 日（日）、13 時 30 分～15 時で行った。3 地区開催とした理由は、多くの参加市民や議員が自由に対話できる事を考慮したものである。
- 3, 各会場の議員の配置は、議会広報特別委員会の委員を責任者として配置し、その他の議員については、公正なくじ引きで選出した。
- 4, 各会場の運営については、参加者の人数などを考慮しながら、それぞれの会場による独自運営とした。
- 5, 議員の参加状況は、1 名の欠席。
- 6, 周知方法は、Instagram、Facebook（各 3 回）によるリール動画、佐渡市 Line（2 回）で、ポスターや回覧による周知方法は行わなかった。

1. 総括

1) 市民の参加については、実施決定が遅くなり紙での周知ができなかったこともあり、少なかつたのではないかという意見もあった。今回の各会場の議員の意見は、少人数ではあつたが市民との自由な対話になつたという感想も多く、気軽に自由に市民との対話という点では、人数が多過ぎた場合の対応が課題となる。

また、すでに同様な事に取り組んでいる議会でも 1 会場あたりの参加者数は多くない傾向があるが、先進事例も参考にした検討が必要である。

参加市民からの感想では、1 時間 30 分の時間では短いというものもあり、今後の検討課題である。

2) 議会報告会、意見交換会とこれまで 2 形態の市民との対話を行ってきたが、出された市民の意見や声に議会として、どのようにして市民に返していくのかは、今後継続していく上で重要な問題であると思料する。

3) 今後の開催をどのような形態のものにするかは、今回出された市民の意見、アンケート、当委員会及び参加した議員の意見も聞きながら検討する予定である。

4) 次回開催は、11 月 21 日、3 地区で開催予定。

2, 各会場の概要（出された主な意見等）

◆両津会場

日時 7 月 12 日(日)13 時 30 分～15 時 00 分 ※集合 12 時 30 分

場所 あいぽーと佐渡催事スペース

2 班に分けて実施

市民参加者：10 人

参加議員：金田※中川健※坂下真、平田、佐々木、室岡、栗山
(事務局:服部、山岸) ※印は議会広報特別委員



出された意見等（要旨）

-

(A グループ)

- ・地球規模では人口は増えているが佐渡は減っている。飛行機等活用して外国からの移住を促進できないか。議員として大きく動けないのか。
- ・子どもたちが帰りたいと思う島にしてほしい。
- ・産業振興・働く場の確保 ・国県補助金は一時的なものでしかないので、産業のノウハウの蓄積や継続できる方法を考えてほしい(事業の定

着、現場の技術力の向上など)。また、議員の質問力で市職員を鍛えてほしい。

- ・豊かさがなくなれば人はいなくなるので、経済を回すためのチェックをしてほしい。

- ・トキエアに口を出すために佐渡市から出資金を出せないか。人口減に対する特効薬はあると思う。トキエアなど交通インフラを充実させ、企業誘致を行い、働く場所を作るべき。

- ・空港問題 ・空港問題で、渡辺市長が9割方判はもらっていると公の場で話しているが、本当は改めて時価で判(同意)を取り直さなければいけないのだが、議会では問題視していないのか。

- ・佐渡まで来るための交通インフラが高すぎる。佐渡に来るなど言っているようなもの。

- ・空港問題、関東圏では羽田がベスト。滑走路も100m延ばせば変わるはず。

- ・佐渡への交通インフラがよくない。空路等、荷を運ぶ手立てを考えてほしい。官民空港はできないか。

- ・過去に、約80人乗りのプロペラ機が佐渡-東京間を何年間か飛んでいて、利用客数の減少でなくなったようだが、そのことも調べてみてほしい。

- ・除雪について、山間地など除雪範囲が広く莫大な経費がかかる上、除雪業者も高齢化で人手が減っていると聞くが、今後の対策として、冬季間だけ山間地に住んでいる方を平場に移ってもらうなどの議論は出ているのか。それともこういう考えはと突拍子のない意見なのか聞きたい。

- ・財政調整基金を回復させてほしい。

- ・この3月定例会で陳情第1号(嘱託員による文書配布業務の廃止に関する)が否決されたが、お年寄りの方などのデジタル難民の不便さを市会議員としてどのように思って反対したのか。

- ・この3月定例会で陳情第3号(放射線治療の継続を求める)が否決されたが、今後、損益分岐点を大きく割っている産婦人科を継続していくことで佐渡総合病院が存続できないということになった場合、この放射線治療の陳情を認めなかった議員の方々はどのように考えるのか。

- ・この6月定例会の時に、事務処理の不適切事案が7例報告され、対策チームが立ち上がってからも続いているが、これに対して市議会としてはどのような対応を行ったのか。

- ・議員の方々は、公約を掲げて当選されたと思うが、公約に対して任期2年が過ぎた中間地点で公約の達成率はどのくらいなのか。自分が掲げた公約に対して、誠実に取り組んでいるのか知りたい。

- ・ いろんな問題が佐渡にあるが、議員の皆さんは何が一番今大事なのか、そのことに関してなんでそれを考えるのか教えてほしい。
- ・ 一般質問について、なぜを 5 回くらい突っ込んでもらいたい(日頃の疑問をぶつけてほしい)。また、10 年先を考えて質問してほしい。
- ・ 市も議員も稼ぐことを考えてほしい(税込増、ふるさと納税増)。また、議員視察も稼いでいる自治体に行ってもらいたい。
- ・ 会場が国仲(金井等)になかったので次回考慮していただきたい。
- ・ 今日のこの人数くらいならメモを取る机を用意していただけるとありがたかった。

(B グループ)

- ・ 人口減少は佐渡市最大の課題であるが、考えを聞きたい。
- ・ 若者が島外へ進学・就職すると戻ってこない。若者世代が佐渡に残る方策は。
- ・ 若い世代が結婚・子育てできる環境づくりが必要である。
- ・ 私立高校授業料無償化により、親子で島外へ移住するケースも増えているのではないかな。
- ・ 農業、林業、水産業など佐渡には多くの資源があるが十分に活用されていない。
- ・ 耕作放棄地などを活用し、若者が生活できる産業を育成してほしい。
- ・ 個人任せではなく、組織的な仕組みづくりが必要である。
- ・ 空港整備は佐渡の発展に不可欠である。
- ・ 滑走路の延長を推進しなくてもよいのでは。現状や課題が市民へ十分伝わっていない。
- ・ 観光や産業振興のためにも実現してほしい。
- ・ 総合計画を読んでも将来像が見えにくい。産業振興に関する落とし込みが弱い。
- ・ 計画だけでなく具体的な行動計画や成果を示してほしい。費用対効果が見えない。
- ・ 職員異動により事業の継続性が失われているように感じる。
- ・ 実施した事業について結果を市民へ説明してほしい。2 年程で自然消滅が多い。
- ・ 医療・介護人材が不足している。看護学校の施設を活用し、介護資格を取れる体制を作してほしい。全国から介護・看護を学ぶ学生を呼び込み、人材育成を進めてはどうか。
- ・ 「介護の島」として特色を出して、佐渡での定住につなげるべき。

- ・子どもが佐渡を好きになり、将来戻ってきたいと思える教育が必要である。
- ・デジタル教育だけでなく、人との交流や自然体験も大切にしてほしい。
- ・議会には市民の声を行政へしっかり届けてほしい。
- ・市民との意見交換を継続してほしい。
- ・行政の考え方や事業内容を分かりやすく伝えてほしい。
- ・佐渡の人口問題、飛行場の問題などどのように考えているか。

◆相川会場

日時 7月12日(日)13時30分～15時00分※集合12時30分

場所 あいかわ開発総合センター1階大集会室

市民参加者：5人（内、子ども2人親子）

参加議員：中川直※佐藤定※川原※林、山本卓、駒形、坂下善
（事務局:池、高尾） ※印は議会広報特別委員



出された意見等

- ・意見交換会は良いことだが PR 不足。自分は議会のフェイスブックを見て来たが、議会報や市報にも載っておらず、せっかくの市民の意見をすくい上げる機会なのにもったいない。
- ・議会の一般質問後に議員のコメント動画をのせるのはいいが、一発ギャグはどうか。市民は物価高や負担増で困っているのに、馬鹿にされていると言う人もいる。いいことをしていても一発ギャグで全部消えてしまう。
- ・最近、市の不祥事が多い。市民は税金など大丈夫かと不安になっている。副市長が再発防止チームを作るというが、副市長は市民センターなどの現場に来ていないようで、それで改善できるかと疑問に思う。組織としてただして欲しい。
- ・地域から要望を出してもゼロ回答で、市民センターに聞いても「財政難だからだめだ」との回答が返ってくる。市民側には『言っても無駄』という諦めムードが広がっている。
- ・地域要望が長年未対応のまま残り、市民は行政の対応遅延に強い不満を抱いている。
- ・行政が要望の進捗や優先度を十分説明せず、市民が状況を把握できないことが問題視されている。
- ・議会報告会は時間や回数、質問数を増やして、そこで出た市民の意見ベスト 10 など整理して議論・反映してはどうか。
- ・一発ギャグは見えていないが、それを通して議員がどんな人か知ってもらうことは大事なことで、普段から市民に対しての PR はいいことだと思う。市民の側も議会を知る努力をしたい。
- ・市民と役所が一緒に佐渡を良くして行こうという方向性が大事。
- ・財政難の話が出たが、100%の満足は難しいが、ある程度の納得のある使い方をしてほしい
- ・カーフェリー代が安くなって市民はありがたい。

◆小木会場

日時 7 月 12 日(日)13 時 30 分～15 時 00 分※集合 12 時 30 分

場所 小木地区公民館 2 階第 2 学習室・第 3 学習室

市民参加者：2 参加議員：山田※広瀬※村川※近藤、荒井（欠席）、山本健、佐藤孝、(事務局:太田、小田) ※印は議会広報特別委員



出された意見等

- ・ 山林が放置されている。移住者にはカフェやゲストハウスの経営でなく、農林業に従事してもらうようにしてほしい。
- ・ 佐渡汽船カーフェリーの更新が予定されているようだが、おけさ丸襲撃事件を忘れないように更新後の船の名前もおけさ丸にしてほしい。
- ・ 佐渡総合病院の院長は病院経営のことしか考えておらず、患者目線を持っていない 県知事は国の方だけを向いている 意見交換会の時間が1時間半では足りない。市長も議会もアリバイづくりのためにやっているように感じる。
- ・ 温泉施設が少なくなってきたが、市民の健康のことを考えれば複数の施設は残すべきだ 市営住宅の取扱いが地区により対応が異なっているので、公平にしてほしい。
- ・ 食の陣などのイベントでシャトルバスが運行されているが、南部を運行する便が設定されておらず、南部が軽視されているように感じる。
- ・ 戦争の悲惨さを子供たちに伝えるため、修学旅行の行き先は広島にしてほしい。
- ・ 相川ばかりが偏重され、南部は取り残されているように感じる。地域格差を生まないようにしてほしい。

令和8年7月12日 意見交換会アンケート結果
参加者17名（うちアンケート回答12名）

1 意見交換会の内容について

よかった	8人
よくなかった	0人
両方	1人
無回答	3人

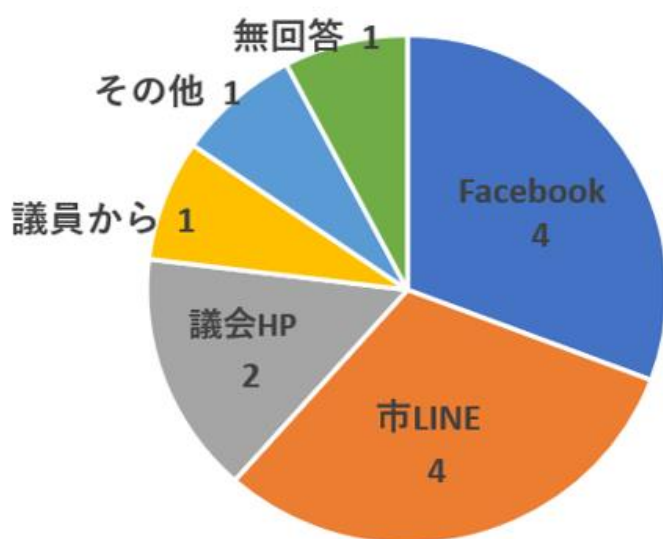
【よかった点】

- ・色々な課題について聞くことが出来て良かった。
 - ・少人数で意見出しし易い環境。
 - ・意見交換が出来た。しかし、それを佐渡市長や諸機関へ働きかけてください。
 - ・議員の素直な話しが聞けて良かった。皆さん真面目でした。
 - ・自分が長年思いつめていた内容について話すことが出来た。
 - ・出席議員の皆さんが、話しやすい雰囲気づくりをしてくれたので良かったです。
- この会の意味はあると思いますので、これからも続けてほしいです。
- ・伝えたい事は伝えられたので良かった。

【よくなかった点】

- ・二分割のスペースで、同じ事を聞くのは無意味！
- ・参加者が少ない。
- ・もう少し市民側の出席者が多いといいですが、なかなか周知が進んでいなかったのが今後の課題だと思います。
- ・じっくり話を聞いてもらえたが、2時間はほしかった。南部が地元ではない議員が多いので、議員さんたちが南部のことをどう考えているのかも聞きたかった。

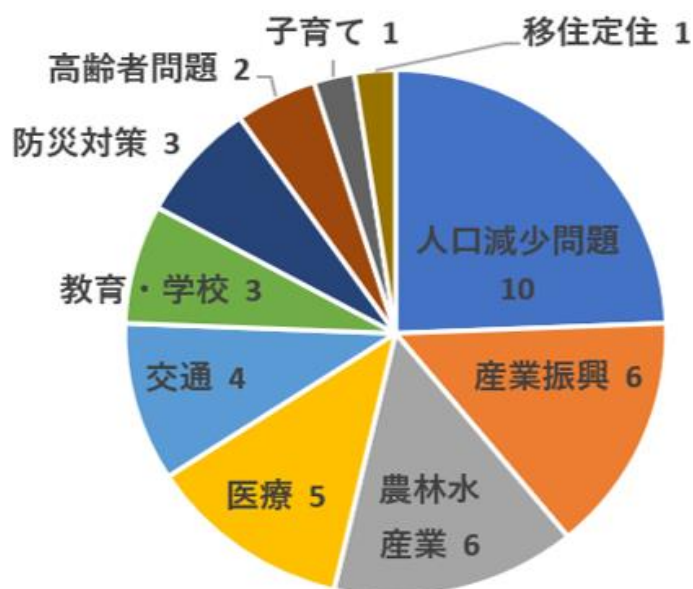
2 意見交換会をどこで知りましたか（複数回答可）



Facebook 4人
議会HP 2人
その他 1人

市LINE 4人
議員から 1人
無回答 1人

3 今後の意見交換会で、どのようなテーマを取り上げてほしいか（複数回答可）



人口減少 10人
農林水産業 6人
交通 4人
防災対策 3人
子育て 1人

産業振興 6人
医療 5人
教育・学校 3人
高齢者問題 2人
移住定住 1人

4 意見交換会の1年間に希望する開催回数

1回	1人	2回	5人
3回	1人	4回	4人
その他	1人		

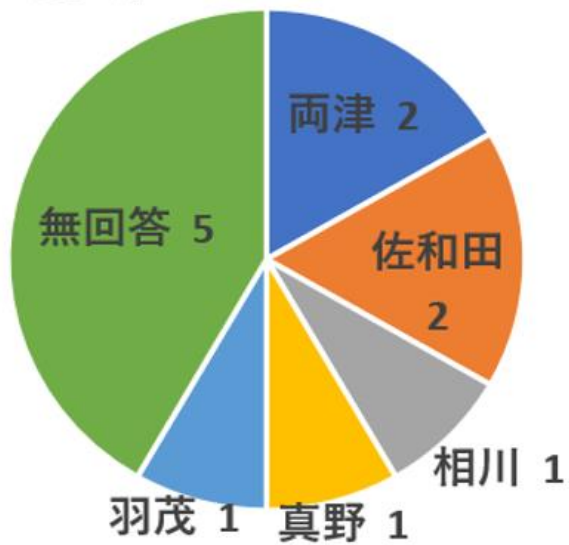
※身近に感じられるよう多ければ多いほど良い

5 意見交換会についての意見をご自由にお書きください

- ・昼間と夜と同じテーマで。
- ・議会だよりに議員の公約の達成率、中間報告を載せて欲しい。
- ・国仲の会場でやって欲しい。
- ・テーマを設けてやって欲しい。
- ・今回みたいに近くの会場に分けてやった事は良かったです。
- ・市民要望 嘱託員（集落）要望を早急にお願い致します。又できないなら市職員がきちんと説明をお願い致します。
- ・次回は今回と違う地域・会場で行ってもよいと思います。曜日は土曜日でもよいのかと思いますし、平日の18時半や19時からでもよいのかと思います。
- ・マイクがあつたが聞こえにくかったのでもうまいこととして欲しい。
- ・最低2時間は欲しかった。次は羽茂か赤泊で。
- ・移住促進や観光よりも、福祉や教育について予算をかけてほしい。
- ・一次産業を大切に。
- ・子どもたちが誇りを持てるよう、佐渡の歴史や文化の継承を学ぶ機会を。
- ・とにかく地域格差の是正を。

アンケート回答者情報（12名）

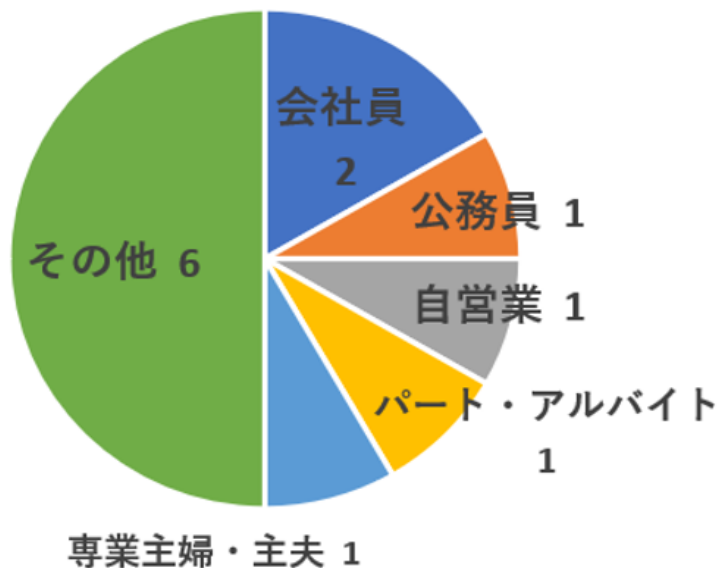
【お住いの地区】



両津	2人
相川	1人
羽茂	1人

佐和田	2人
真野	1人
無回答	5人

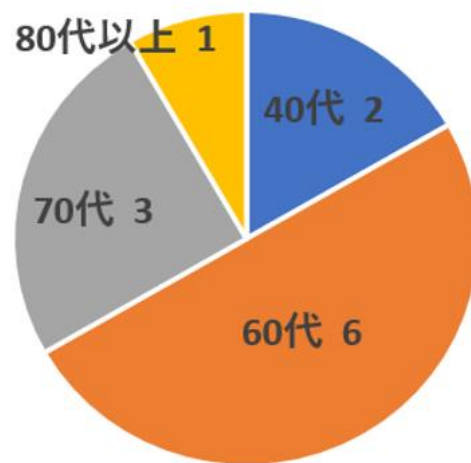
【職業】



会社員	2人
自営業	1人
専業主婦主夫	1人

公務員	1人
パートアルバイト	6人
その他	6人

【年代】



10代	0人	20代	0人
30代	0人	40代	2人
50代	0人	60代	6人
70代	3人	80代以上	1人

市政に関する意見交換会（両津会場）実施報告書

日時	7月12日（日）13時30分～15時00分 ※集合 12時30分
場所	あいぽーと佐渡 催事スペース
所感	・報告会から意見交換の形に変わったことに参加者の理解が及んでないため、少し戸惑いの感があったが概ね目標は達成できた。 ・上越市議からのアドバイスでは回を重ねるにつけ会話がスムーズになるとのことである。コアなメンバーの発言はあまり変わらないと思われるが、この手法に市民から理解が得られれば良い展開に進むのではないかと思う。 ・テーマをある程度定めることで、話がスムーズになるのではないか。2グループであれば、別々のテーマ設定も考えられる。 ・進行役は、自身も考え且つ答えながら会を進行するのは少しやりにくい感じがした。 ・慣れてくれば、それほど難しくなくなるので、旧自治体に2年の内に1回訪問できればよいと感じた。
参加者	あいぽーと佐渡 10人
主な意見・アンケート結果	別紙のとおり
出席議員	（あいぽーと佐渡 催事スペース） 金田※ 中川健※ 坂下真 平田 佐々木 室岡 栗山 （事務局：服部 山岸） ※印は議会広報特別委員

市政に関する意見交換会（相川会場）実施報告書

日時	7月12日（日）13時30分～15時00分 ※集合 12時30分
場所	あいかわ開発総合センター 1階大集会室
所感	・参加者が本当に来るのか心配であったが、まずは来ていただいたことがありがたかった。意見交換会として、参加者の方に多く話していただき、対応する議員も同じ人に偏ることなく話が進められたことも良かった点である。 ・当会場には元市議の方がお見えになったが、今後元職の方の発言時間があまりにも多くなった時には一定の制限をかけるなど、工夫が必要になってくると感じた。 ・人数としては、議員7の大人の市民3であったが、時間バランスも丁度良かったと感じた。広報をこれから行っていくことで、参加人数が多くなっていくことが予想されるので、発言時間のバランスにより注意をしていくことが必要である。 ・会場設営や質問に対する回答など、議員間で意見交換会を成功させたいとの思いが感じられた。 ・参加された方も佐渡市を何とかしたいとの思いがそれぞれ感じられた。 ・進行について、司会者は大変だが議員みんなの協力があればできるだろうと感じた。 ・意見交換会は継続することに意義があり年3回程度は必要だと思う。 ・意見交換会は市民と議員との距離感を縮められる機会である。
参加者	あいかわ開発総合センター 5人
主な意見・アンケート結果	別紙のとおり
出席議員	（あいかわ開発総合センター 1階大集会室） 中川直※ 佐藤定※ 川原※ 林 山本卓 駒形 坂下善 （事務局：池 高尾） ※印は議会広報特別委員

市政に関する意見交換会（小木会場）実施報告書

日時	7月12日（日）13時30分～15時00分 ※集合 12時30分
場所	小木地区公民館 2階第2学習室・第3学習室
所感	・ 2名という少人数ではあったが、活発で建設的な意見交換がなされ、円滑に進行できた。参会者に有意義な意見交換会だったと感じて頂けたと思う。 ・ 明らかに周知不足であったため、少人数になってしまったが、大人数の参加となるとはたして有意義な意見交換ができるのか。という疑問が湧いた。 ・ 合併前の23年前までは158名の議員がいたが、現在は21名（約87%減）となり、議員が身近ではなくなった事が参加者少数の原因の一つではないかと思う。 ・ 気軽・気楽に参加できるよう、また、自ら出向いていく事も必要なので、商業施設での実施は検討に値する。
参加者	小木地区公民館 2人
主な意見・アンケート結果	別紙のとおり
出席議員	（小木地区公民館 2階第2学習室・第3学習室） 山田※ 広瀬※ 村川※ 近藤 荒井 山本健 佐藤孝 （事務局：太田 小田） ※印は議会広報特別委員